

地域資源（地域木材及び地元伝統建築技術など）を活用することで、
地域経済復興にも資する、
エコな復興まちづくり

1

一般社団法人 天然住宅
代表理事 相根 昭典

事業の目的

- 仮設住宅から出て、住宅を再建できる資力のある人は2割ぐらいといわれている。公営住宅に住むしかないと諦めのムードが現地には漂っている。それでも、地域コミュニティが壊れたり、バリアフリー配慮や通院、買い物が不便、など不安を感じる人が多い。
全員が公営住宅に入居はできない。将来像が描けない人が大半を占める。それが仮設住宅地域における喫緊の重要課題。
- 岩手県陸前高田市には、伝統技能の「気仙大工集団」が存在し、国産木材も多い。これらを活用し、住宅再建を早め、地域経済の発展につなげる。
- 荒廃した森林を再生する。
- しかし、大手プレファブメーカー等に住宅の受注を奪われ、地域資源(人・木材)は十分に活用されず、住宅再建も思うように進んでいない。
- 気仙大工集団である「気仙大工建築研究事業協同組合」所属の工務店等に、天然住宅やサステナ等が持つ、住宅建築等における合理化技術、住宅コーディネート、広告宣伝の技術等を移転することにより、当該地域の住宅再建を早める。雇用を増やし、地域経済の発展に資する。
- 陸前高田市からの支援要請を受ける。

仮設住宅地域の地域資源

(単位: 千ha)

県名	森林面積			非森林面積	土地面積 合計
	国有林面積	民有林面積	計		
青森県	394	247	641	320	961
岩手県	389	786	1,175	353	1,528
宮城県	126	287	413	316	729
秋田県	387	463	850	311	1,161
山形県	354	314	668	264	932
管内計	1,650	2,097	3,747	1,564	5,311
全国	7,589	17,534	25,123	12,662	37,785

注: 1 国有林面積は平成17年国有林野事業統計による。

注: 2 民有林面積は2005ポケット農林水産統計による。

注: 3 県土面積は平成17年度版全国市町村要覧による。

【出所】東北森林管理局「管内の概要」(2013.8.19アクセス)



【出所】陸前高田市観光物産協会『気仙大工左官伝承館』
(2013.9.26アクセス)

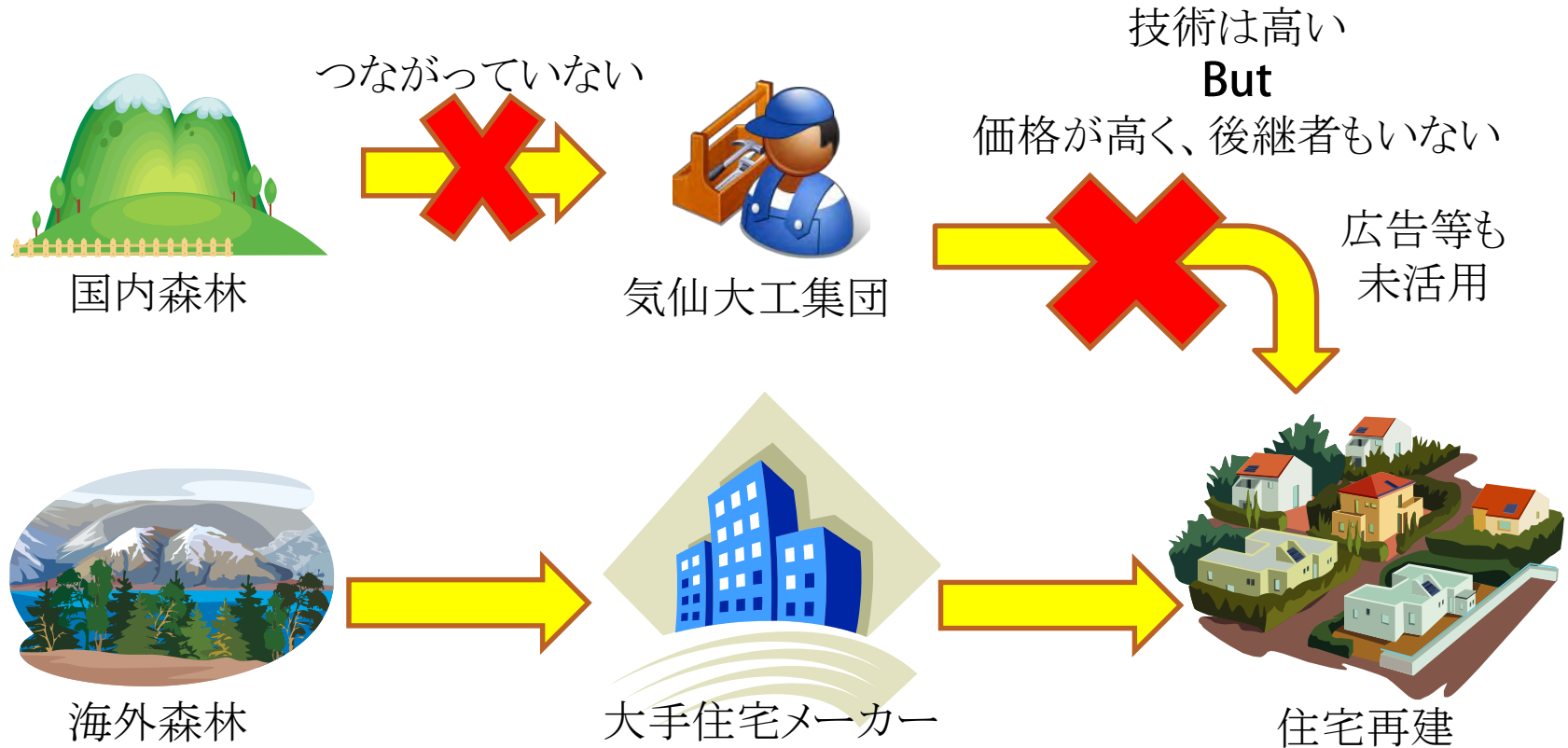
■ 森林資源

- 仮設住宅地域を含む東北地域は、日本でも有数な森林地域。
- しかし、被災地域に限らず、全国の中山間地域において林業・林産業が衰退化している。その要因は景気の悪化に加え、大手住宅メーカーとの競争や外材・ビニールを使用したハウズビルダーに負けている。

■ 伝統技術

- 仮設住宅地域である陸前高田市には卓越した伝統技法を持っている「気仙大工」が存在する。
- しかし、その技術は口承であり、複雑な建築工程等のため、合理化も難しく、被災前から当該技術の継承が困難であったが、この震災により、決定的に難しくなった。

地域経済の発展につながらない住宅再建



- 国内林業・林産業と気仙大工集団が繋がっていない上に、広告塔の技術もないので、住宅再建者に存在を認知されず、地域資源が活用されない。
- 結局、外材を多用した、広告宣伝のうまい、仮設住宅地域からは遠く離れた都会の住宅メーカーが当該住宅再建を担うことになり、地域経済の発展につながらない。

仮設住宅地域の現状

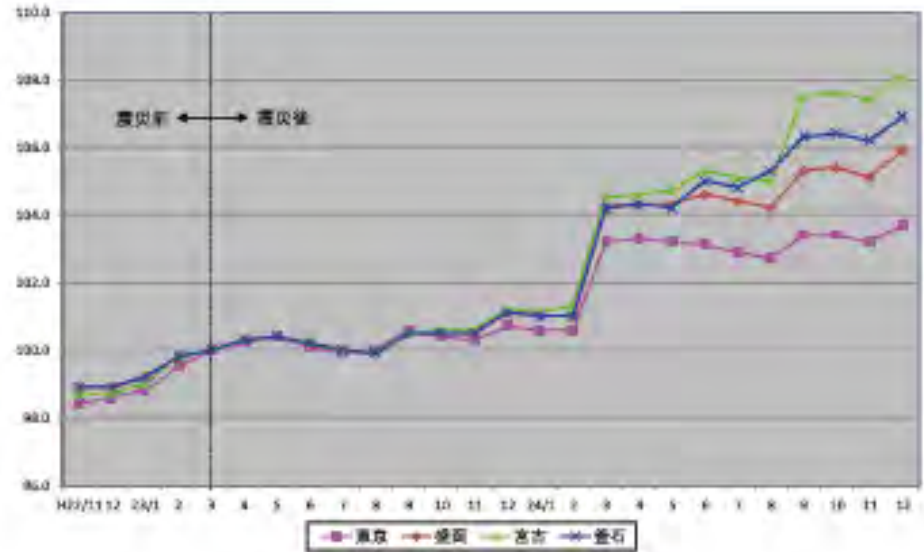
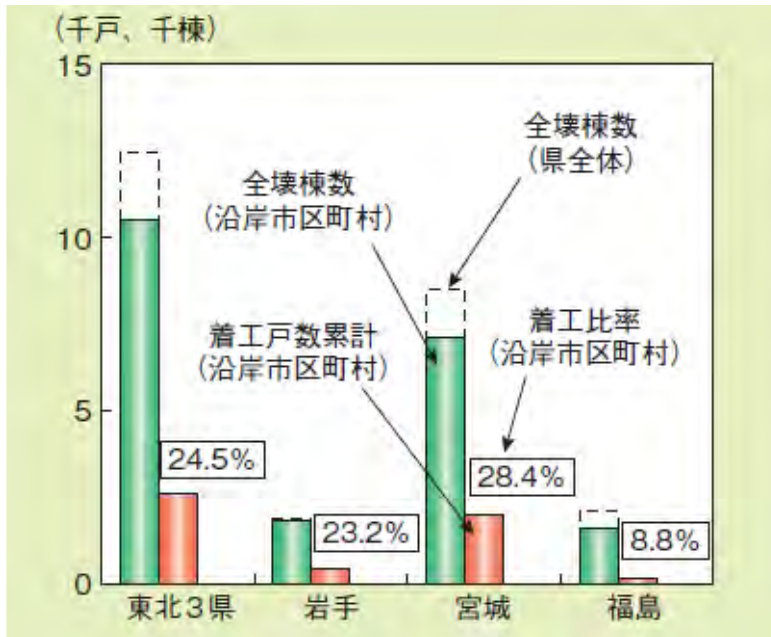


図9 建築費指数の推移（岩手県）

【出所】内閣府『平成25年度経済財政白書』第1-1-20図（2）

【出所】橋本真一(2013)『建築コスト研究 No.81 特集』p.40引用

- 仮設住宅地域において、住宅着工件数は増加している。
- しかし、このところの人件費・建築資材の高騰もあり、2割ぐらいの潤沢な建設資金を持っている人々が住宅を建てているに過ぎない。
- 倒壊数からみると、着工数は非常に低い水準である。

JST研究*1)で「目指す社会」

環境保全
生態系維持
素材生産



安全で丈夫な材料の提供
カーボンニュートラルなエネルギーの提供
再生可能な範囲での伐採、利用

社会の蓄積炭素量を増大
低炭素社会の実現

健康で快適、長寿命。省エネ
長期にわたり炭素を固定



林業経営が可能な
適正価格での購入

*1) JST研究とは(独)科学技術振興機構(JST)社会技術研究開発事業「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」研究開発領域の平成21年度採択プロジェクト(「快適な天然素材住宅の生活と脱温暖化を「森と街」の直接連携で実現する」(平成25年9月末まで)。なお、参加団体は天然住宅、埼玉大学、早稲田大大学、名古屋大学等。

実施体制、スケジュールの概要

天然住宅※1

- ・ 林業等と住宅を直接つなぐビジネスモデル
- ・ 住宅コーディネート・ノウハウ

アンビエックス

- ・ 国産材多用で健康な低価格住宅設計ノウハウ

サステナ

- ・ 環境広告等ノウハウ
- ・ 人材教育ノウハウ



気仙大工建築研究事業協同組合※2

■ 組合事務局

■ 組合所属工務店
その他関連事業者

■ 組合所属製材所
その他林業・林産業者



組合所属企業が中心となり、自立的・持続的に住宅再建を行う

※1、※2:天然住宅と気仙大工組合はお互いに協力する旨の覚書を交わしている。

気仙大工組合の加盟工務店・業者 との技術融合・移転





海草染めWSの準備



自社設計の気仙沼市
前浜
コミュニティセンター
の見学。



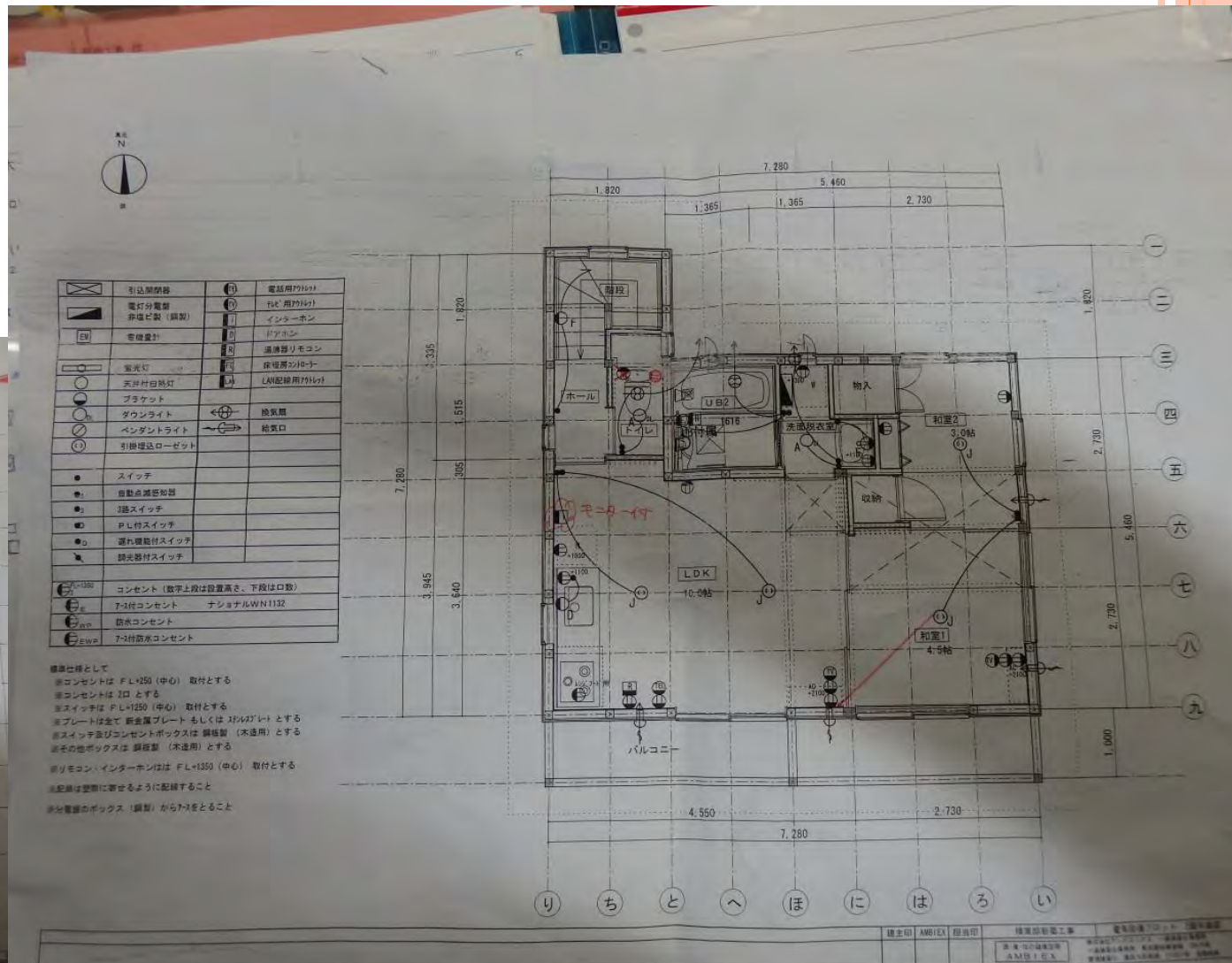
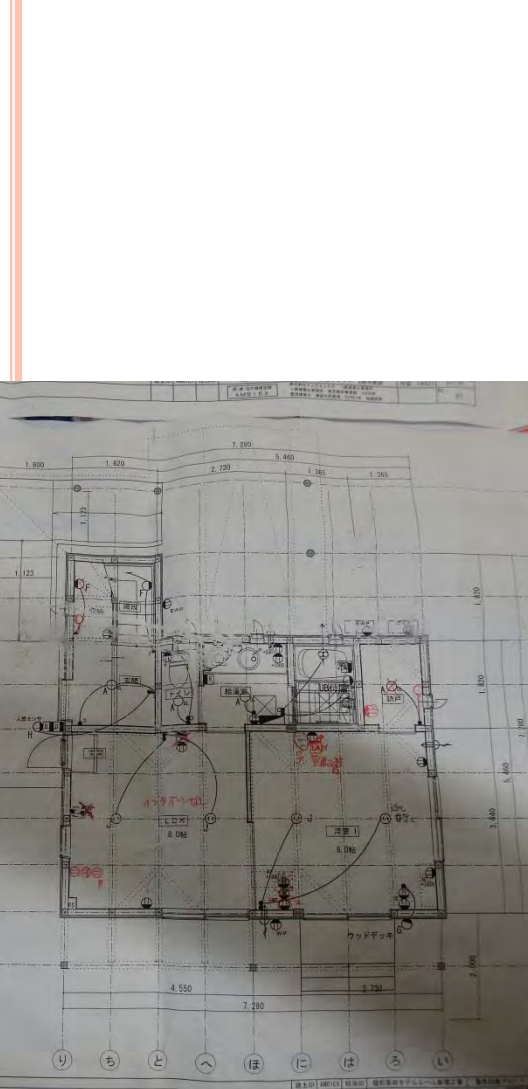
敷地を被災された方々に無償定期借地権。数十戸。
気仙大工のモデルハウスと気仙大工集落用地。



めでたく契約。モデルハウス着工。



モデルハウスは2階建て。 復興住宅標準タイプ12坪ロフト付き。650万円



上棟

気仙大工の技を生かし現代感覚で合理化。



絶妙な手仕事。複雑な細工がピタッと嵌る。



小屋組は合掌造り。
ロフトに小屋束が出ない。



開放的なロフトスペース





ピレスロイド系シロアリ駆除剤
の撤去。



伝統的な木組み。





完成目前。
モデルハウスが
よく目立つ。



森林の手入れ不足。
荒廃しつつある。



高台移転で造成。
皆伐で保水能力が
無くなる

